

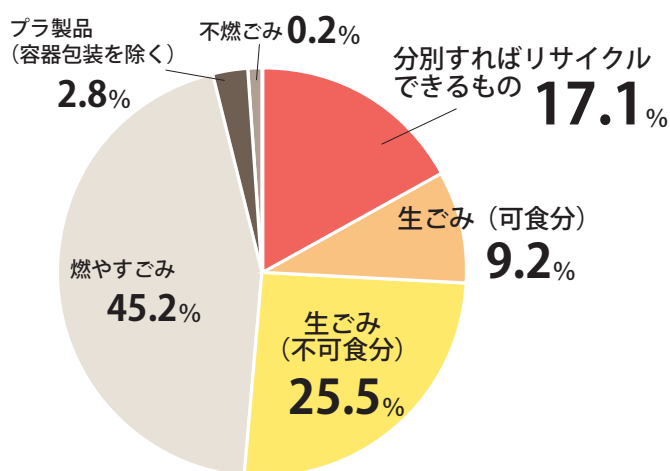
燃やすごみの分別を！

問 ごみ減量課 ☎ 65-1252



家庭から捨てられる燃えるごみの分別状況を測るため、市内に設置されているごみステーションの中から数カ所を選定して、燃やすごみの開封調査を実施しました。

開封調査の内訳



分別すればリサイクルできるもの 17.1%の内訳

古紙類
9.4%

プラスチック製
容器包装
4.9%

その他資源ごみ
2.8%

【調査時の写真】
多くの古紙類と一緒に捨てられていました…



ごみの中に資源が？

燃やすごみとして捨てられていたものうち、**約17%はリサイクルできる資源**でした。

その中でも、お菓子の紙箱やチラシなどの古紙類が燃やすごみとして多く捨てられていました。リサイクルできるのにもったいない！

また、よく一緒に捨てられているトイレットペーパーの芯やティッシュ箱は古紙類、食品トレイやお菓子の袋はプラスチック製容器包装で出すとリサイクルができます。ごみの減量推進のため、適正に分別しましょう！

ごみの分別が分からないときは、市公式LINEの「ごみ分別検索」が便利です。ぜひご活用ください。



LINE

食品ロスを無くしましょう！

燃やすごみとして捨てられていた約34.7%の生ごみを調べたところ、食べられるのに捨てられている「可食」が約27%、調理過程で排出された調理くずの「不可食」が約73%でした。

可食の多くは、食べ残しや調理の際の過剰除去部分で、中には未開封でそのまま廃棄された商品もありました。燃やすごみ全体では9.2%が可食で、令和2年度の年間ごみ収集量から推測すると、**約1,800 t程度が食べられるのに捨てられている**と考えられます。

食卓に並べる料理を食べきれぬ量にしたり、買い物の際には自宅にある食材をチェックし買すぎないようにしたりするなど、小さなことから食品ロスを無くしていきましょう！